

# 歴史ある棚田を守る

～ 敷島棚田等農耕文化保存協会～



写真: 甲斐市 御領棚田ろうそく祭り

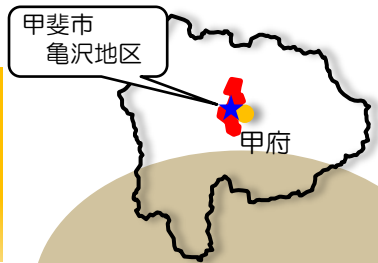
山梨県甲斐市亀沢地区は、甲府盆地を望む中山間地域に位置し、江戸時代初期には徳川幕府の御朱印田として開田された歴史ある棚田が美しい景観を形成していました。しかし、一枚一枚の田の面積が小さく傾斜地であり労力がかかること、高齢化や後継者不足により、近年では耕作放棄地化していました。そこで、耕作放棄地を解消し、棚田の再生、発展、伝統的な農耕文化を後世へ伝えていくため、甲斐市敷島地区の農家を中心として、

「NPO法人 敷島棚田等  
農耕文化保存協会」

を2003年に設立し、歴史ある棚田の保全に向けた活動を行っています。



● 御領棚田の眺め



棚田を舞台とした交流

敷島棚田等農耕文化保存協会は耕作放棄地を解消し、棚田を保全するため活動を続けてきました。その活動が実を結び、現在では、周辺農地の所有者も耕作を再開するようになっており、現在では全面積の7割程度の棚田が保全されています。

現在、保全された棚田を舞台とした棚田オーナー制度を導入し、近隣にある甲斐敷島クラインガルテンの利用者などの都市住民との交流を行っています。さらに、近年では企業による農業体験の受け入れも行っていきます。

また、2015年からは、棚田の畦にろうそくを灯す「ろうそく祭り」を開催しています。訪れる人は年々増えており、棚田の美しく幻想的な風景は、昼間とはまた違う格別の光景です。

お問い合わせ  
山梨県甲斐市牛匂3294ゆうのう敷島内  
NPO法人 敷島棚田等  
農耕文化保存協会  
TEL 055-267-0831

# 棚田を守る取り組み



敷島棚田等農耕文化保存協会  
会長 堀内 克一さん

「御領棚田は歴史ある美しい千枚田（棚田）で、特に「箕の隠れ田」（箕笠に隠れるほどの小さい田）は、観光の名所としても知られていました。しかし、最近では耕作放棄地が増えたため、美しい景観が失われつつありました。そこで、この貴重な棚田を守るために保存協会を立ち上げました。今後も活動を継続して、地域の方と協力しながら棚田を守ってまいります」



● 田植えに向けた草刈り作業



● 子供から大人まで楽しく田植え作業



● 稲刈り後、稲穂を干す作業



● 保全された棚田で栽培されている棚田米。近隣にある甲斐敷島クラインガルテンや東京のイベントなどで販売されています。



● 一般参加者等による田植え作業の様子

## 企業と連携した活動

敷島棚田等農耕文化保存協会では、企業の農業体験を受け入れています。活動している企業の一つであり、「無印良品」を展開している（株）良品計画では、社員だけでなく、ホームページ等により一般参加者も募集し、田植え作業等を行っています。それに加えて、昨年は出来たお米を使った味噌づくりや、稲わらを用いたしめ飾りづくりを行っています。